

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）				
地区名	一般国道42号				
事業箇所	田原市小塩津町				
事業のあらまし	国道42号は、渥美半島 ^{あつみはんとう} を縦貫する道路で、半島先端の観光地と豊橋市、静岡県とを結ぶ幹線道路である。当該地区は概ね歩道は整備されているものの、歩道がない区間があり、交通量も多いことから歩行者が危険な状態になっている。そのため歩道を設置して歩行者の安全を確保する。				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①危険通学路の解消</p> <p>②歩行者等の安全性の確保</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2012年度)	再評価時 (2020年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2012～2020年度	2012～2022年度	用地交渉の難航	
	事業費（億円）	4.5	4.9	事業内容の精査	
	経費内訳	工事費	1.8	2.2	事業内容の精査
		用補費	2.3	2.3	
		その他	0.4	0.4	
事業内容	歩道設置 L=640m	歩道設置 L=640m			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>集落地内の通学路であるものの歩道が未整備であることから、早急な歩道設置が求められている。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>集落地内の通学路であるものの歩道が整備されていないため、歩行者の安全性が確保されていない。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>通学路や歩行者の通行状況に大きな変化はない。</p>			
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>		
			<p>【理由】 歩行者の安全性確保の必要性は変わらず、事業着手時と比べて事業の必要性に変化はない。</p>		

1) 進捗状況

【事業計画及び実績】

項目		年度											計	
		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022		
工事 区分	調査設計	←————→												/
	用地補償	←————→												
	工事						←————→							
事業費 (億円)	前回計画			1.8				2.7					4.5	
	実績			1.8				2.7						
	今回計画			1.8				2.7		0.4			4.9	

【進捗率】

	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率	
	計画	実績	達成率(%)	計画	達成率(%)
	【①】	【②】	【②÷①】	【③】	【②÷③】
延長(km)	0.64	0.44	69%	0.44	100%
事業費(億円)	4.5	4.5	100%	4.9	77%
工事費	1.8	1.1	61%	2.2	50%
用補費	2.3	2.3	100%	2.3	100%
その他	0.4	0.4	100%	0.4	100%

用地進捗率 100%

【施工済みの内容】

なし

2) 未着手又は長期化の理由

本事業区間は、家屋が連坦しており、地権者との補償内容等の用地交渉に時間を要したため。

3) 今後の事業進捗の見込み

【阻害要因】

用地取得は、全て買収済みであり、今後の阻害要因はなし。

【今後の見込み】

事業を着実に進め、2022年度に事業完了する見込みである。

判定

B

- A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。
- B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）
 - ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。
 - **・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。**
 - ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。
- C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。

【理由】 今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。

Ⅲ 対応方針	
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>事業実施前後の歩行者等の安全性の変化</p>	